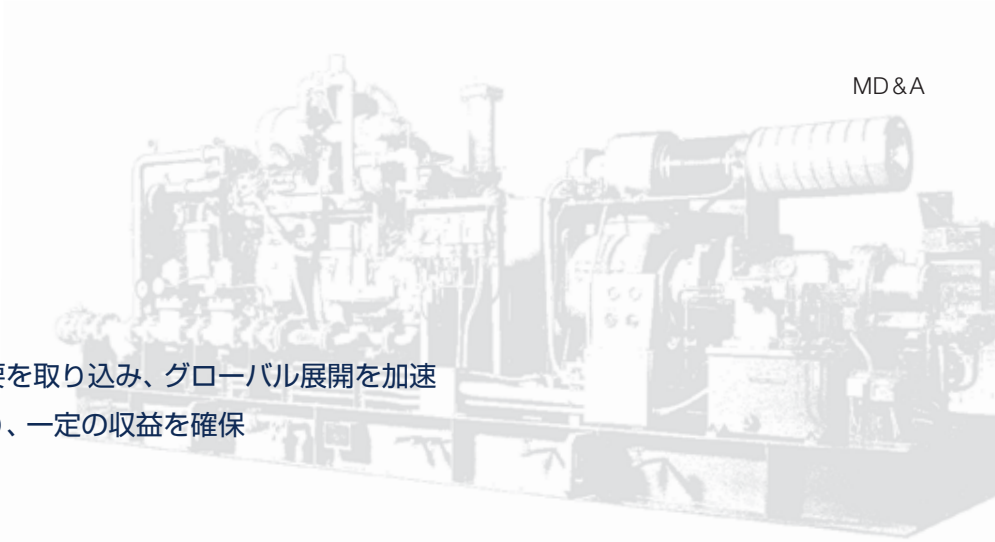




## 機械事業部門



- 新興国を中心とした旺盛な需要を取り込み、グローバル展開を加速
- コストダウンの推進などにより、一定の収益を確保

### 2011年度の概況

石油精製・石油化学業界向け圧縮機を中心に、需要が堅調に推移したことから、2011年度の受注高は、2010年度比3.0%増の1,450億円となり、2011年度末の受注残高は、1,605億円となりました。

また、2011年度の売上高は2010年度並の1,528億円となりましたが、経常利益は2010年度に比べ46億円減益の98億円となりました。

## Topics

### ■ 圧縮機事業の米国拠点能力増強

非汎用圧縮機事業の米国拠点「KOBELCO EDTI COMPRESSORS, INC.」で取り組んできた生産能力増強工事ならびに本社移転工事が2011年4月に完工し、本格操業を開始しました（総投資額は約20百万ドル）。

新工場への移転に合わせ社名を「KOBELCO COMPRESSORS AMERICA, INC.」に変更し、同社は今後、神戸製鋼グループ機械関連事業の主力製品である非汎用圧縮機事業の北米・南米展開の中心的役割を果たしていきます。

### ■ 中国圧縮機メーカーへ資本参加

2011年5月、当社は中国におけるプロセスガス圧縮機（非汎用圧縮機）の需要拡大に対応するため、中国の圧縮機メーカーである無錫圧縮機股份有限公司（中国江蘇省無錫市 以下無錫圧縮機）の株式44.3%を取得する契約を締結し、株式を取得しました。

無錫圧縮機は、1955年創立の中国における有力な総合圧縮機メーカーであり、特に石油精製・石油化学用レシプロ圧縮機分野、空気圧縮機（スクリー式）分野では市場から高い評価を得ています。

今回の資本参加により、当社グループの圧縮機事業は非汎用圧縮機分野における中国の生産拠点が加わることとなり、積極的な事業のグローバル展開および売上規模拡大を推進してまいります。



### ■ 汎用圧縮機の中国・上海工場で増設完了

当社が、汎用圧縮機事業の中国拠点「神鋼圧縮機製造（上海）有限公司」で取り組んできた生産能力増強工事が2011年7月に完工し、本格操業を開始しました（総投資額は約477万元）。

神鋼圧縮機製造（上海）は、中国および東南アジアへの供給基地として、2008年に生産能力を増強しましたが、旺盛な需要によりフル生産が続いていました。今回の能力増強により、年産能力は2,200台から3,500台となります。当社の汎用圧縮機事業において、中国および東南アジア向けの供給拠点として中心的役割を果たしていきます。

### ■ インドのタイヤ・ゴム機械製造工場が稼働開始

当社がインドのラーセン・アンド・トゥブロ社（LARSEN & TOUBRO LIMITED 以下L&T）と合併で設立したL&Tコベルコマシナリーが建設中のタイヤ・ゴム機械製造工場が2012年1月に完工し、稼働を開始しました。

今後は、当製造拠点ならびにL&Tの有する強固な販売網をフル活用して、インド以西のマーケットでの拡販を図り、世界トップメーカーとしての確固たる地位を築いてまいります。